



色褪せない長い歴史  
それは信頼と実績

芝生用/除草剤

ウェイアップ<sup>®</sup> フロアブル

 **BASF**

We create chemistry

# ウェイアップ® フロアブル

## 高い除草効果と安全性 様々なシーンで使用できる万能剤

### 日本芝への高い安全性

- 日本芝に高い安全性があります。
- 通年の春期・秋期処理が可能です。

### コウライシバに対する安全性

[1993~1994年、圃場試験]

供試薬剤	薬量/m <sup>2</sup>	春期1回散布	秋期1回散布	春期・秋期 2回散布
ウェイアップ フロアブル	0.4ml			
	0.9ml			
	1.8ml			
A剤	0.3ml	++	++	++
	0.6ml	+++	+++	+++
B剤	0.24g	0	+++	+++
	0.48g	+++	+++	+++

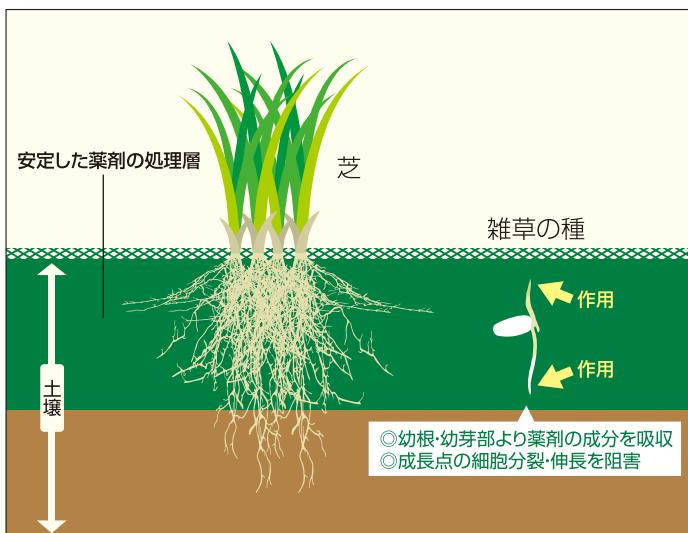
薬害なし:0 影響少:+ 影響中:++ 影響大:+++

※洋芝のコース及びグリーンへの散布はできませんが、ベントグラスのグリーン周りでは直接薬液がかからない限り散布可能。ドリフトやシューズ裏に付着した薬剤による影響もありません。

### 安定した土壤処理効果

- 有効成分の土壤吸着により、安定した処理層を形成します。
- 降雨、斜面でも効果が安定します。

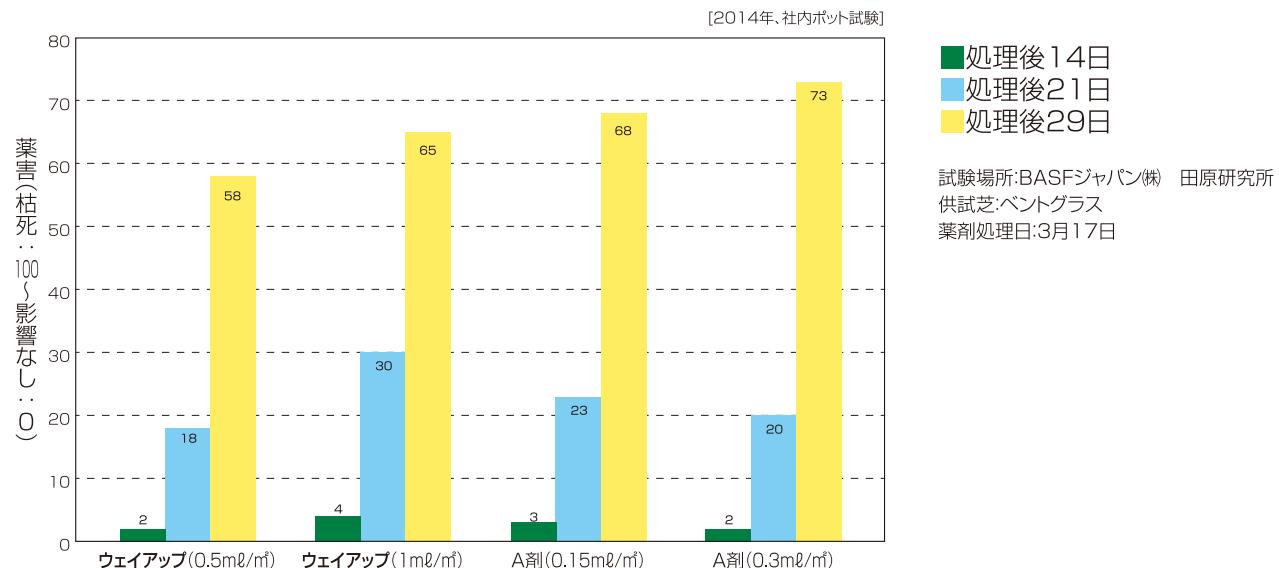
### 殺草メカニズム



発生前の雑草をしっかりと抑えます。

### ベントグラスへの安全性

- ウェイアップのベントグラスへの影響は、ベントグラスに登録を有する有効成分を含む除草剤と同等です。
- 安全性が高く、グリーン周りでの使用が可能です。



# 幅広い殺草スペクトラム

芝に対する安全性が高い

安定した残効性

## 幅広い殺草スペクトラムと優れた効果

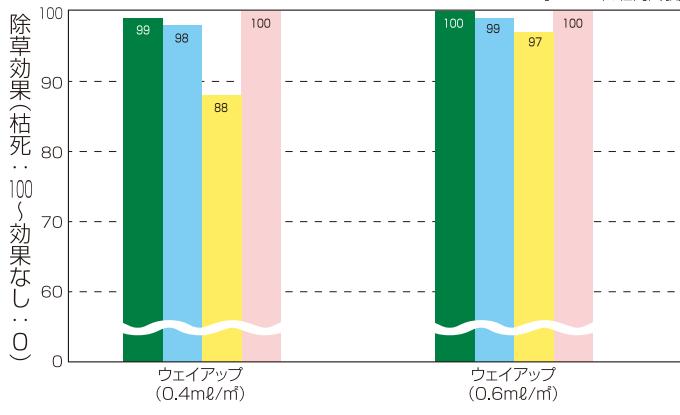
●広葉雑草から越年生雑草まで抑える、幅広い殺草スペクトラムを示します。

殺草スペクトラム		ウェイアップフロアブル				A剤	
		0.5mℓ/m <sup>2</sup>		0.8mℓ/m <sup>2</sup>		0.12g/m <sup>2</sup>	
		発生前	生育初期	発生前	生育初期	発生前	生育初期
イネ科	スズメノカタビラ	○	△	○	○	○	×
	メヒシバ	○	△	○	○	○	×
	アキメヒシバ	○	△	○	○	○	×
	オヒシバ	○	△	○	△	○	×
	シマスズメノヒエ*	○		○	△		
	メリケンカルカヤ*	○		○	△		
カヤツリグサ科	カヤツリグサ	○	△	○	○	△	×
	ヒメクグ*	○		○		△	×
キク科	オオアレチノギク	△	×	○	△	△	×
	ヒメジョオン	△	×	○	△	△	×
	ウラジロチコグサ	△	△	○	△		
ナデシコ科	オランダミミナグサ	○	△	○	○		
	ハコベ	○	△	○	△		
	ツメクサ	○	△	○	△	○	×
マメ科	カラスノエンドウ	×	×	△	×	×	
	ヤハズソウ	△	×	○	△	×	
	シロツメクサ*	×					
アブラナ科	タネツケバナ	○	△	○	△	△	
トウダイグサ科	コニシキソウ	○	×	○	△		
オオバコ科	オオバコ*	△	×	△	×	×	
ゴマノハグサ科	タチイヌノフグリ	△	×	○	△	×	
スミレ科	スミレ*	×	×	×	×	×	
カタバミ科	カタバミ*	△	×	△	×	×	

○: 優れる ○: 有効 △: 劣る ×: 無効 \* 多年生雑草(適用外草種につき参考データ)

### ■春処理の薬量と残効性

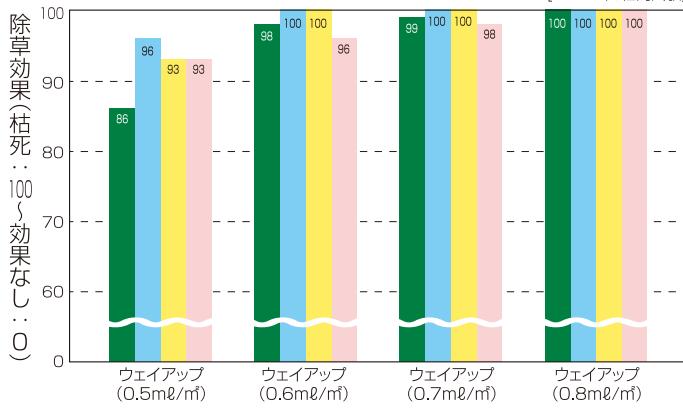
[2014年、社内試験]



試験場所: 福岡県農施試験地  
供試芝: コウライシバ(フェアウェイ状管理)  
薬剤処理日: 4月13日  
調査日: 7月31日(処理119日後)

### ■秋処理の薬量と残効性

[2013年、社内試験]



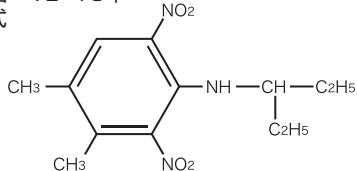
試験場所: 佐賀県Aゴルフ場  
供試芝: コウライシバ(フェアウェイ状 刈高20mm)  
薬剤処理日: 9月20日  
調査日: 2014年2月24日(処理153日後)

実用的な薬量として春期散布: 0.5mL/m<sup>2</sup>以上、秋期散布: 0.6mL/m<sup>2</sup>以上がお奨めです。

## 成分・性状・物理化学的性質・規格

農林水産省登録：第16959号  
種類：ペンディメタリン水和剤  
成分：ペンディメタリン…45.0%  
化学名：N-(1-エチルプロピル)-3,4-ジメチル-2,6-ジニトロアニリン  
性状：黄緑色水和性粘稠懸濁液体  
規格：1L×10本

構造式



## 人畜・環境への高い安全性

人畜毒性(製剤)：普通物(毒劇物に該当しないものをさしていう通称)

LD <sub>50</sub> (ラット、経口)	5000mg/kg以上
LD <sub>50</sub> (ラット、経皮)	2000mg/kg以上

魚毒性(製剤)

コイ LC <sub>50</sub>	1000mg/L以上(96時間)
オオミジンコ EC <sub>50</sub>	0.7mg/L以上(48時間)
緑藻 EbC <sub>50</sub>	0.016mg/L(72時間)

## 適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
				葉量	希釈水量			
西洋芝 (バーミューダグラス)	—	畠地一年生雑草 (キク科を除く)	芝生育期 (雑草発生前)	400~900 g/10a	200~300 L/10a	3回以内	全面土壌散布	3回以内
日本芝			雑草発生前	(1m <sup>2</sup> あたり) 0.4~0.9g	(1m <sup>2</sup> あたり) 200~300ml		植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	
樹木等	鉄道、公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面等							

## 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- (2) 使用前によく振ってから使用してください。
- (3) 本剤の所定量を所要量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- (4) 本剤は雑草発生前～発芽時処理の効果が高く、雑草の生育が進むと急激に効果は低下するので、使用時期を誤らないように注意してください。
- (5) 敷布の際は雑草及びサッチ等を除去した後、使用すると効果的です。
- (6) 本剤はイネ科及び広葉の一年生雑草に効果がありますが、キク科雑草、ツユクサには効果が劣るので、これらの雑草の優占圃場では使用しないでください。
- (7) 土壤が乾燥している場合には効果が劣ることがあるので、希釈水量を多めに散布してください。
- (8) 植付け直後の芝生には生育抑制などの薬害を生ずることがあるので使用しないでください。
- (9) 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- (10) 敷布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、容器、空袋等は圃場に放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- (11) 激しい降雨の予想される場合は使用を避けてください。
- (12) 敷布薬液の飛散、あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害が生ずることのないよう十分に注意して散布してください。
- (13) 本剤は着色するので、衣服、散布器具、散布車や周辺の状況などに十分注意して散布してください。
- (14) 敷布時や散布液乾燥前にゴルフプレーヤーが立ち入ることがないよう注意して散布してください。
- (15) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- (16) 敷布の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- (17) 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- (18) 使用残りの薬剤は、必ず安全な場所に保管してください。
- (19) 水産動植物(藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- (20) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- (21) 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届くところに置かないでください。  
●空ボトルは3回以上水洗いし、圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ●洗浄水はタンクに入れてください。

**BASFジャパン株式会社**

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVAL日本橋ビル3階  
<https://turf-ornamentals.bASF.co.jp/>

800201 3  
202011